



**「平成26年度 様々な！ふれあい活動について」**

赤谷森林ふれあい推進センター（以下「赤谷センター」という）では、三者協定による赤谷プロジェクトを進めるための業務を行っていますが、赤谷プロジェクトの取組をわかりやすく伝えるために「ふれあい活動」についても数多く取り組んでいます。ふれあい活動にあたっては、参加者のニーズを収集しながら、「より安全に！より楽しく！より学べる！」提案型のプログラム作りを取り組んでいます。

今回は、主だった活動を紹介致します。

**小中学校を対象とした森林環境教育**

○地元小学校

地元の小学校から依頼を受け、毎年5、6年生を対象に、身近に生息している動植物や森林と人との関わりやなどを知ること目的にした遠足を実施しています。また、6年生は旧三国街道での遠足時にセンサーカメラの設置を体験し、事後学習で撮影した森の動物たちを題材に学んでいます。

・新治小5年（7月23日）、沼田北

小5年（10月2日）、新治小6年（10月8日、12月2日） 延べ参加者数207人

○千葉県の中学校

高原千葉村（みなかみ町相俣）に野外体験に来ている中学2年生を対象に、自然保護・森林保全等を学ぶことを目的にした環境教育のプログラム（森の探検ウォークラリー・VESION3・4）を提供しています。

・おゆみ野中（6月27日）、蘇我中（9月16日）、打瀬中（10月23日） 延べ参加者数59人

○利根実業高等学校

グリーンライフ科森林科学コース2年生を対象に、自然環境や保護活動に対する知識を深め、今後の学習に役立てることを目的にした旧三国街道での自然・歴史探索を行う環境教育を実施しています。

（11月12日）参加者数20人



新治小学校遠足10/8

**一般・大学等を対象とした研修**

赤谷プロジェクトは、生物多様性の復元と持続的な地域づくりに関する先進的な取組であるとともに、国有林の協働管理のモデルでもあります。赤谷プロジェクトのこれまでの成果、協働管理のためノウハウ等について、大学生・社会人向けのセミナーにも積極的に協力しています。

・日本獣医生命科学大学猛禽サークル（5月7日）、放送大学面接授業（5月16、17日）新潟大学農学部生産環境科学科（6月22日）、群馬県農林大学校森林・環境コース（10月23日）、東京農工大学大学院農学府国際環境農学専攻（10月24日） 延べ参加者数145人



東京農工大学大学院10/24

**官公庁研修講師等**

○環境省自然保護官研修  
環境省環境調査研修所からの依頼

を受け、自然環境行政の現場の最前線である自然保護管事務所勤務を既に経験した自然系技官の職員を対象に「林野行政に見る地域協働」赤谷プロジェクトを例に」というテーマで、赤谷プロジェクト三者で講義を行いました。（11月5日）参加者数23人



環境省自然保護官研修11/5

○林野庁生物多様性保全研修

林野庁森林技術総合研修所の依頼を受け、地方公共団体及び森林管理局担当職員等を対象に、地域の自然的・社会的状況に応じた実効性のある生物多様性保全を図るため生物多様性保全に精通した技術者を育成することを目的にした研修の講師として赤谷プロジェクトの取組を紹介しました。（6月25日、11月17、21日） 延べ参加者数30人

CSR等企業へのプログラムの提供

○デサント・スポーツキッズinみなかみ町

みなかみ町まちづくり交流課の依頼により、みなかみ町まちづくり交流課と(株)デサントSP統合部キッズ事務局との共催により開催されている「デサントキッズスポーツ教室」に森林環境教育プログラム「森の探検ウォークラリー」を提供しました。(7月21日)参加者数50人



デサントスポーツキッズ7/21

地域と連携した自然観察会の開催

○赤谷の森自然散策(年3回)

群馬、新潟の県境にある旧三国街道等において、赤谷センター・みなかみ町観光課の共催で、赤谷の森の自然や人とのつながりを学べる機会として、年3回「赤谷の森自然散策」を実施しております。今年度は、猿ヶ



深まる秋と紙芝居10/25

京温泉にある「民話と紙芝居の家」のコラボ企画として実施しています。第1回(5月24日)、第2回(10月25日)、第3回(平成27年2月11日予定) 延べ参加者数 71人

地域イベントへの参画

赤谷プロジェクトの目的である持続的な地域づくりの達成に向けて、プロジェクトの取組をわかりやすく伝える機会として、地域行事等へ積極的に参画しています。イベントブースでは、自然等に関心や親しみを持っていたりするための入口として、ネイチャークラフト等の体験コーナーを設けています。  
・あかぎ南ろく桜フェスタ(4月12日) 体験者数56人  
・敷島公園祭り(4月29日) 体験者数332人

- ・ホテルが生息する環境づくり体験教室(7月5日) 体験者数40人
- ・赤谷湖上花火大会(8月23日) 体験者数135人
- ・群馬県21世紀の森フェスティバル(8月24日) 体験者数88人



赤谷湖上花火大会8/25



マツのコデラックス! 11/24

を実施したところ、沼田市でも開催してほしいとの一般の方からの要望を受け、赤谷センターの自主企画として開催しました。(11月24日) 体験者数15人  
○ロケットリーフの普及  
地元NPOから相談を受け、平成24年度に大人も子供も気軽に楽しめる環境教育教材として、「空飛ぶタネの模型(名称…ロケットリーフ)」の開発に協力しました。これを活用し、森林文化を伝え、緑化運動や間伐材利用促進の啓蒙を通じて地域振興等にも寄与できる環境教育プログラムも同時に作成し、普及に努めています。

最後に

今年度の赤谷センターのふれあい業務には、延べ1457人(12月末現在)のご参加をいただきました。

今後も新たなニーズを掘り起こしながら、赤谷プロジェクトの取組を伝え、「知って、学んで、体験」できるプログラム等を作成・提供して行きます。

職員一同!皆様のご参加をお待ち申し上げます。

その他

○ネイチャークラフト教室(マツのコデラックス豪華版!)  
みなかみコイラ2014のプログラム「マツのコデラックス豪華版!」

- ・放送大学学園祭(9月20日) 体験者数38人
- ・みなかみコイラ2014(8月25日、9月27日、10月15日) 延べ体験者数30人
- ・たくみの里秋の花まつり(11月2日) 体験者数45人
- ・ボランティアフェスタぬまた(12月7日) 体験者数73人